



## 夢に燃えた夏。 日々の積み重ねを、今、ここに。

◎第25回愛媛県消防操法大会

迅速で的確な消防技術の習得と団員の士気高揚を図ろうと愛媛県消防操法大会が7月27日、松山市の愛媛県消防学校で開催されました。

消防操法とは、消防団の基本的な訓練の一つで、火災現場を想定し、給水箇所とポンプ・ホースを連結、放水し、火点と呼ばれる的を倒すまでの一連の動作のことをいいます。大会では、火点を倒すまでのスピード、動作やポンプ車等の操作が正確であるかが審査されます。

本大会には、各地区の予選を勝ち抜いた強豪32チーム（ポンプ車の部15チーム、小型ポンプの部17チーム）が参加。本町からは、ポンプ車の部に日吉方面隊第6分団が出場しました。

過去、輝かしい成績を残している日吉地区の消防団。しかし、ポンプ車の部での県大会出場経験はなく、県大会出場、初優勝を目指して昨年の10月から訓練を開始しました。これまで熱心に取り組んできた日吉地区の消防団にとっても異例のことでした。

訓練は、出場選手はもちろんのこと選手を指導、サポートする鬼北消防署員や消防団員、そして団員を支えた家族など、地域が丸となった取り組みました。選手は周囲の期待にこたえてタイムを大幅に短縮し、優勝を狙えるまでに成長。

そして迎えた本番。指揮者の「操法始め」の一声と同時に駆け出した選手は、大舞台の重圧をはねのけ、素晴らしい操法を披露。訓練で徹底的に体に叩き込んだ正確な動作、そしてスピード。連日連夜の厳しい訓練で培った技術と精神をこの会場で全て出し切ろうと、最後の一瞬まで気を抜くことなく全力で走り抜きました。結果は、八幡浜市、西予市、愛南町に次ぐ4位。

夢の全国大会にはあと二歩届きませんでした。初出場ながら見事な操法を披露した選手、熱い消防魂を持って大会に臨んだ第6分団の勇姿は、順位以上に価値のあるものでした。10カ月に及ぶ訓練に汗を流した選手団に心から拍手を送ります。